

火山防災対策会議（第13回）

議事要旨

1. 日時

令和3年10月8日（金）10:00~12:00

2. 出席者

森田座長、市原、大野、阪本、清水、田中、三浦、安井、榊（代理：内田）、米田（代理：東出）、荻澤（代理：荒竹）、生川（代理：鎌田）、三上、金澤、森（代理：菅野）、加藤（代理：政岡）、川村、藤田、伊藤、石井 各委員他

3. 議題

- （1）最近の火山防災対策の取組状況
- （2）火山防災対策関係の令和4年度概算要求について
- （3）火山防災に係る調査企画委員会からの報告

4. 議事要旨

- 各委員及び事務局（内閣府）から、最近の火山防災対策の取組状況等について説明し、情報共有を図るとともに、事務局（内閣府）から「御嶽山噴火を踏まえた今後の火山防災対策の推進について（報告）」において示された実施すべき取組の状況について説明し、意見交換を行った。
- 各行政委員及び事務局（内閣府）から、令和4年度概算要求内容について説明し、情報共有を図るとともに、火山防災に係る調査企画委員会の西村座長から、同委員会における関係機関の令和4年度概算要求における施策・研究の連携のための取組結果について説明し、意見交換を行った。
- 火山防災に係る調査企画委員会の西村座長から、「噴火予測・前兆現象の評価」に資する施策・研究の方向性、「噴火後の推移の評価」に資する施策・研究の方向性、火山活動により変化した地形データの共有について報告し、意見交換を行った。
- 各委員より頂いた主なご意見は下記のとおり。

<最近の火山防災対策の取組状況について>

- S I Pで開発し実装した機器等について、大学等の研究者による更新が困難な場合があることから、持続していくための仕組みについて検討していくことも必要。
- 大学等の観測点の保守・維持等について、関係省庁との連携による協力体制の構築を検討していくことも必要。
- 火山ハザードマップ（G I Sデータ）について、オープンデータ化されたすべての火山

が一覧できるリンク集の作成を検討してはどうか。

<火山防災対策関係の令和4年度概算要求について>

○特に質疑なし。

<火山防災に係る調査企画委員会からの報告について>

○火山毎の中長期的な噴火リスク評価について、対応すべき火山を抽出した上で研究を進めていくことが重要。

○水蒸気噴火の想定火口の絞り込みについて、系統的、分野横断的な連携により進めていくことが必要。

○各機関が別目的で取得し、蓄積しているデータもそれぞれの機関等の合意を得ながら利用できる仕組みを検討していくことも必要。

○噴火時の火口位置の推定について、近年の検知技術の向上も含めて施策に活かしていくことが重要。

○噴火後の推移評価について、過去の噴火事例での避難や帰還等の判断の経緯も調査しておくことも重要。

○火山機動観測に関して、より柔軟に実施できるよう制度面についての議論をすることも必要。

以 上